

B 168 女子大生の被服の関心度と自尊心との関係
 武庫川女大家政 藤原康晴

この研究は女子大生の被服の関心度と自尊心との関係および被服の関心度を示す5つの因子間の相関について検討した。測定は164名の女子大生に対して質問紙を用い、5点法で行った。この研究では、達藤らが作成した自尊心測定尺度と5つの因子から構成される被服の関心度測定尺度を用いた。結果はピアソンの積率相関係数を用いて分析した。

被服の関心度を示す5つの因子のうち3因子(個性の強調、社会的受容、慎しみ深さ)が自尊心と有意な相関が認められた。(下表)。高い自尊心をもつ女子大生はその個性を強調するために被服を用いているが、自尊心の低い人は社会的受容、慎しみ深さを重視した被服行動をとる傾向があることが分った。

被服の関心度を示す5つの因子間の相関を求めたところ、外観を重視する人はブランド製品を好み、個性を強調する。また、個性の強調と社会的受容および慎しみ深さとは負の相関があり、社会的受容と慎しみ深さには正の相関が認められた。

	Clothing Interests				
	Concern with Appearance	Social Approval	Orientation to Brand Items	Enhancement of Individuality	Modesty
Means	3.23	2.92	2.39	2.61	3.16
Std. deviations	0.54	0.52	0.64	0.57	0.61
Self-Esteem	0.143	-0.457**	0.069	0.238**	-0.398**

**Significant at 0.01 level